

二間戸小学校校歌

作詞 池田 昌敏

作曲 不詳

一、 空に秀ずる念珠岳 ねんじゅ

しりん 四隣を吞べる麓 ふもと

ばらぎんなん 原銀杏の梢大空高く こぞえ

ぎんなん 立てる二間戸銀杏校

二、 あしたまたぎ 朝未明に集い来て

やうじ 勇氣と規律養いつ

ち しんたい み国の為の智と身体を

よんひゃくよ 磨く健児は四百余

二間戸小学校々歌

作詩 池田昌敏先生
作曲 不詳

1. そらにひさる ねんじゅだけ しりをのべる ふもとば
2. あしたまたぎに つどいき て ゆきと きりつを やどい

1. いなうのこずえ おおぞら たかく たてる ふたまど ぎんなん
2. みくにのための ちとしんたいを みがく けんじは よんひやく

二間戸小学校々歌

作詩 池田昌敏先生
作曲 不詳

大正十一年から十二年の間に作られたもの

一、空に秀ずる念珠系

四隣を吞める藤原

銀杏の梢大空高く

立てる二間戸銀杏校

二、朝未明に集い来り

勇気と規律を養いつ

み國の爲の智と身体を

磨く健児は五百余

三、春は櫻の匂う有り

夏銀杏の緑濃く

気高き心吾等の誇り

いさく学べこの庭に

四、秋風たちて空寒く

月も疎らん冬の日に

念珠系風のいやさ流ぶとも

銀杏健児は意気高し

五、二間戸文化の魁けは

かゝる吾等の肩の上

鉄の腕に力を秘めて

銀杏の陰に雲待たん

六、おゝその聲の勇ましや

聲のみだにも肉躍る

三百健児いさく励め

銀杏校の名を揚げよ